

第15期 令和5年度(2023)

香美市まちづくり寄附金
報告書



高知県香美市

1. 寄附者の皆さまへ

皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
 また、日頃より本市のまちづくりに格別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。
 香美市まちづくり寄附金制度は、平成20年4月からの寄附金税制の改正(ふるさと納税制度新設)に伴い、香美市では同年6月に導入しました。
 制度スタート以来、全国の皆さまから「ふるさと香美市」を想われるお気持ちとたくさんのご寄附をお寄せいただきました。
 ここに香美市まちづくり寄附金の令和5年度事業報告をさせていただきますとともに、あらためてお礼を申し上げます。
 今後とも、皆さまにご支援をいただけるようなまちづくりに努めてまいりますので、引き続き、香美市へのご支援を多くの皆さまから賜りますようお願い申し上げます。

2. 寄附の概況

コース 年度	①かがやき コース		②やすらぎ コース		③にぎわい コース		④市長おまかせ コース		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R元年度	8,666	75,014,652	3,787	31,825,000	1,768	13,109,000	18,995	139,427,000	33,216	259,375,652
R2年度	4,330	59,686,000	1,759	23,901,000	927	11,116,500	8,856	108,414,000	15,872	203,117,500
R3年度	3,079	45,987,000	1,512	20,631,500	741	10,466,500	6,243	88,846,400	11,575	165,931,400
R4年度	2,443	50,412,500	1,108	9,592,000	548	18,999,000	4,194	62,049,500	8,293	141,053,000
R5年度	1,690	53,756,000	674	15,201,000	403	10,930,500	2,037	46,589,000	4,804	126,476,500

3. 寄附の活用方法について

令和5年度は、ご指定のありましたコースの財源として、下記の事業に活用させていただきました。

寄付金コース	使用金額	使途内容	備考
かがやき	18,527,000	国際バカロレア教育推進事業、図書館資料購入事業、生涯学習フォーラム開催、スポーツ教室開催、吉井勇開館20周年記念イベント、星空観望会、部活動備品購入事業	
やすらぎ	0	該当事業なし	
にぎわい	10,244,000	文化財看板新設、白髪山登山道整備、香美市3大祭り(川上様夏祭り・土佐山田まつり・湖水祭)補助金、フラフ購入事業	
市長おまかせ	31,928,000	地域活性化総合補助金、学生地域活動支援事業費補助金、子育て世代新築住宅取得・住宅リフォーム支援補助金、提案型市民主役事業費補助金、ものづくり大賞	
合 計	60,699,000		

4. 活用事例

【活用事例1】 にぎわいコース

フラフ購入事業

～伝統の特産品「土佐山田フラフ」を有名に～

①取組内容

香美市では、伝統の特産品である大きな旗「土佐山田フラフ」の知名度向上のため、毎年4月から5月にかけて市内各所で掲揚しています。これまで掲揚してきたフラフの老朽化に伴い、ふるさと納税を活用して、一般的なサイズのフラフ(3.3m×4.5m)と、狭い場所でも掲揚できるミニフラフ(1.2m×0.9m)を新調しました。ミニフラフは展示しやすいサイズのため、屋外だけでなく屋内展示等においても積極的に活用し、「土佐山田フラフ」の認知度向上を図っています。

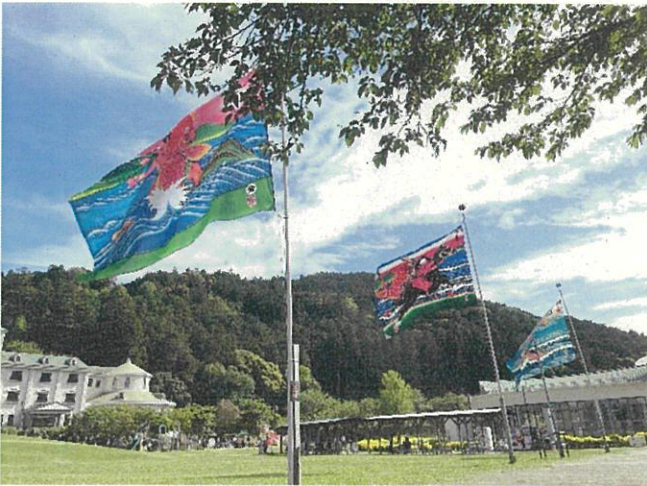
②取組にあたり工夫した点や注力した点

土佐山田フラフの認知度向上を目的として、フラフのフォトコンテストを開催しました。また、より多くの寄附者の目にとまるよう、フラフの掲揚の様子やフォトコンテストの開催内容をSNS等で積極的に発信し、広報活動にも力を入れています。

③取組による効果

フラフを新調したことで、土佐山田フラフが多くの方の目にとまり、興味関心を持っていただけるようになりました。フォトコンテストの応募者も、昨年度は42件だった応募が、今年度は61件に増えました。また、県内からの応募だけでなく、県外からの応募もありました。このような取組みをきっかけに、県内外の方に香美市への興味関心を高め、観光の発展や移住促進に繋げていきたいです。

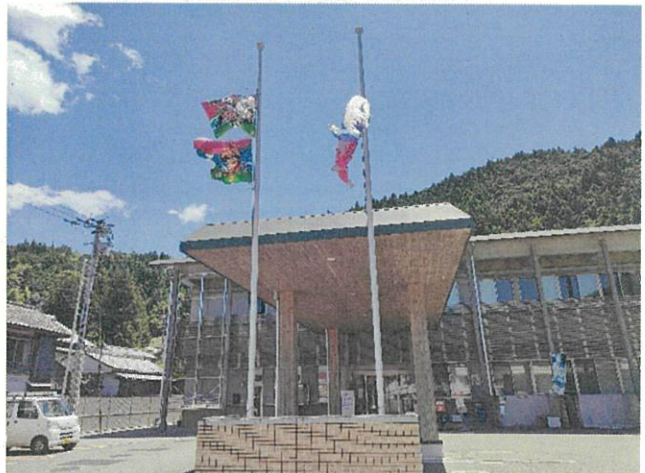
【新調した土佐山田フラフがたなびく様子】



【フォトコンテスト審査の様子】



【ミニフラフを掲揚している様子】



【活用事例2】 市長おまかせコース

香美市提案型市民主役事業

～市民の力でまちおこし～

①取組内容

「市民が考え、市民が主体となって、市民のために提供する」様々な事業を応援し、市長が定めるテーマに市民の自由な発想と視点を生かし、市の活性化や市民の連携を広げることを目的とし、創意あふれる「香美市のまちづくり」に役立つ事業に、香美市提案型市民主役事業費補助金を交付しました。

②取組にあたり工夫した点や注力した点

複数の申請者に対して、プレゼンテーション方式の審査会を開催し、最大の採点を獲得した団体に交付しました。採点にあたり重視した項目として、イベントの魅力、独自性、集客力、市民との連携、市外への情報発信等を重視しました。

③取組による効果

審査会の結果、香北町青年団主催「かほく星空劇場」が採択され、補助金を交付しました。

令和5年10月7日(土)14:00～20:00 香美市香北町セレネ広場にて野外コンサート、映画上映、グルメ屋台、体験ブース等が開催されました。約1,000名の参加者があり、参加者の反応として対面・SNSともに好印象で、来場者の心に残るイベント・交流の場を提供できました。地域にある他イベントと連携し、地元中学生4名のボランティア活動を通じた地域の課題解決の場となったことや、香北町青年団の育成にもつながりました。

【開催の全景】



【映画上映】



【地域住民の体験ブース】



【野外コンサート】



【活用事例3】 かがやきコース よってたかってスポーツ教室 ～めざせ未来の大リーガー～

①取組内容

プロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグplusに所属する高知ファイティングドッグスによる、香美市内の少年野球チームを対象とした野球教室を開催しました。質問コーナーでは、子ども達から野球がうまくなるコツを聴かれた選手が熱く語るシーンも見られました。また、グラウンドではプロ選手の投げるボールを、バッターボックスで体験するという貴重な経験ができました。

②取組にあたり工夫した点や注力した点

出来るだけ多くの子どもたちにプロ野球に接する機会を与えたいと、少年野球チームに所属する子どもだけではなく、未就学児も参加可能としました。

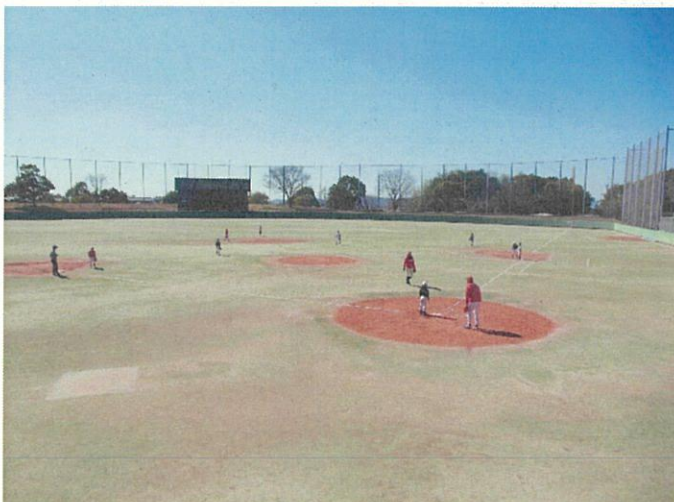
③取組による効果

野球教室に参加した子ども達からは大変好評でした。これをきっかけに、もっと野球を好きになってくれればと思います。

【プロの選手からアドバイスを受けました】



【実際にプロ選手のボールを体験しました】



【活用事例4】 かがやきコース

星空観望会

～星のまち香美市をPR～

①取組内容

香美市観光大使の宮地竹史氏(元石垣島天文台所長)を講師に迎え、星空観望会および講演を開催し、星のまち香美市をPRする取組を行いました。

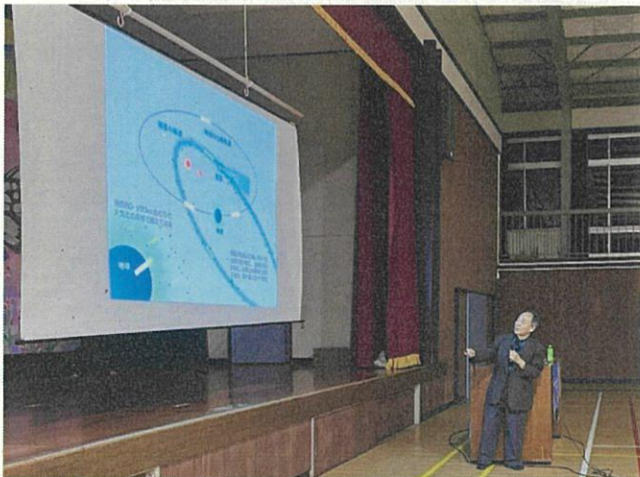
②取組にあたり工夫した点や注力した点

香美市香北町出身のやなせたかし先生が描いた星のキャラクター「カミーティア」を看板に、「やなせたかし先生の見た空」と題し、講演を行いました。また、カミーティアファンクラブ有志による星にまつわる曲を演奏しました。

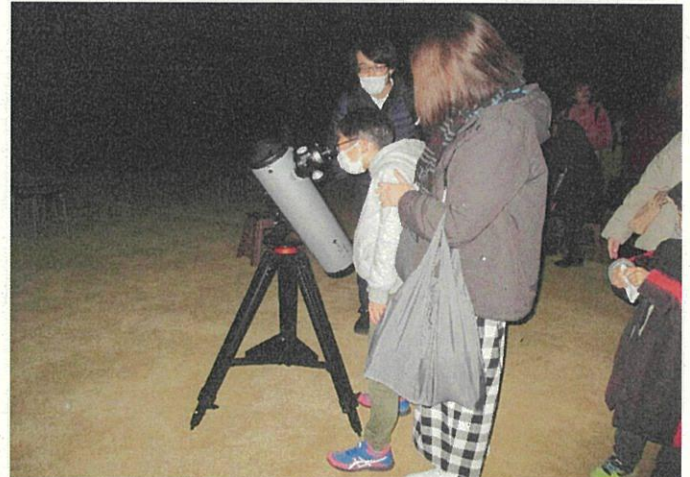
③取組による効果

募集人数をはるかに超える参加があり、「星のまち香美市」に興味関心を持っていただきました。子どもたちの参加も多く、香美市を知ること、香美市への愛着や定住促進を図る第一歩となりました。

【星空講演会の様子】



【星空観望会】 たくさんの星が観察できました



【星空演奏会】 素敵な音色を楽しみました♪



【活用事例5】 かがやきコース

開館20周年記念事業(吉井勇と棟方志功)

～世界的版画家棟方志功と吉井勇の関りを展示して集客を図る～

①取組内容

令和5年5月31日に開館20周年を迎える節目の企画展として、富山県福光美術館から、吉井勇の歌を棟方志功が版画にした作品31点を借用してR5.4.1～R5.6.4まで吉井勇記念館(以下、記念館)で展示。展示作品の借用・返却に係る費用にふるさと納税を活用しました。

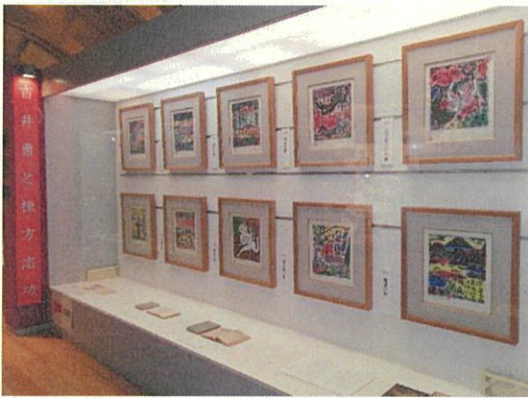
②取組にあたり工夫した点や注力した点

「勇が歌って志功が彫った」歌と美術のコラボレーション…をテーマとして、短歌愛好者や吉井勇世代以外の客層へアプローチをして、入館者の増加、特に新規入館者の獲得を目指しました。より多くの寄附者の目にとまるよう積極的に広報活動を行い、新聞、ラジオ、香美市ホームページ、SNS等での発信や、市長、教育長にもPRに尽力いただきました。

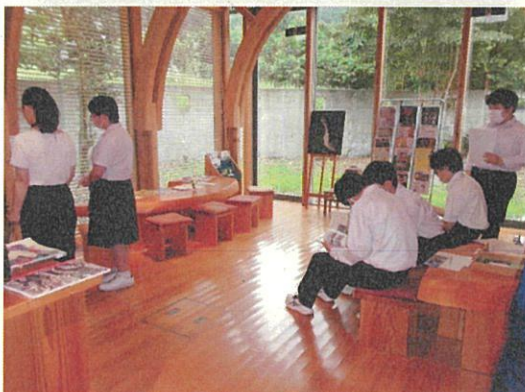
③取組による効果

棟方作品の展示は四国内では珍しく、県内外から多くの来館者がありました。いつもは閑静な記念館ですが、5年ぶりに1,000人を超える入館者数(1,027人)を記録しました。初めて記念館を訪れたという方も多く、記念館を通じて香美市の認知度アップやPRを図ることができ、予想を上回る集客となりました。

【借用作品展示の様子】



【来館者で賑わう館内の様子】



【活用事例6】 かがやきコース

図書館資料購入事業

～知識の宝庫 図書館の新しい仲間たち～

①取組内容

図書館は、利用者の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与するため、常に最新の情報や多様な資料を収集し、提供する必要があります。継続的な資料購入により、蔵書や視聴覚資料を更新・充実させ、利用者のニーズに応えています。

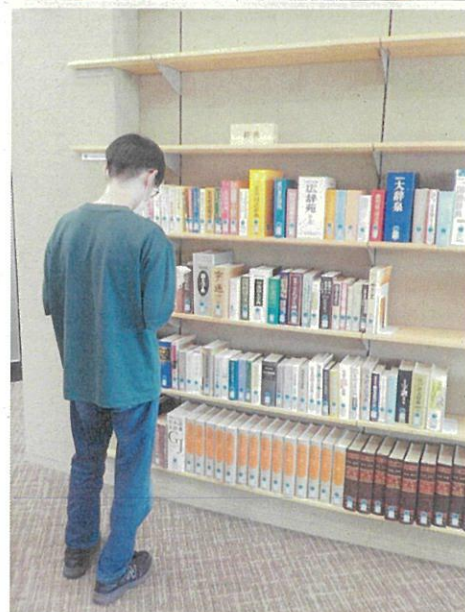
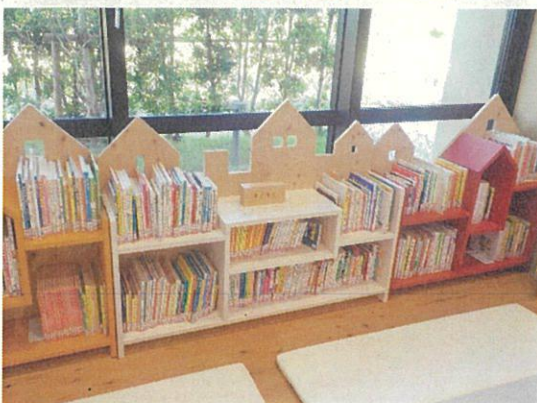
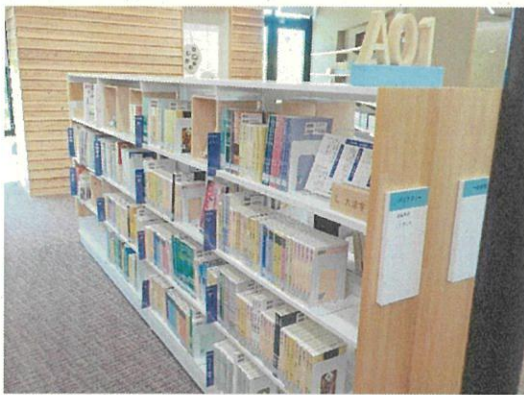
②取組にあたり工夫した点や注力した点

経済的・社会的状況などに関わらず、すべての人々が読書等を通じて、平等に情報にアクセスできるよう、図書館は地域住民の学習、調査研究、教養、娯楽などさまざまな知的要求に応えるため、幅広い分野の資料を収集する必要があります。特に個人では購入が難しい特殊な資料や専門書、高額な参考図書などを積極的に収集するよう心掛けています。

③取組による効果

図書館が適切な資料費を確保することで、充実した資料を提供し、地域の文化や教育に幅広く貢献することができました。また、視力の弱い方や、高齢で文字が読みづらくなった方にも読みやすいように、文字の大きさや行間等を調整した大活字本や参考図書である事典・辞典、契約書式例や法律解説書などを購入し、多様な利用者のニーズに対応しました。

【図書館でのひととき】



5. 基金について

寄附者の意向に沿った事業に充当するため、当該年度の寄附金を積み立て、翌年度以降の事業の特定財源とし、基金からあらためて繰り入れを行っています。

【まちづくり応援基金積立額推移】

年度	基金積立額(円)	対前年度(円)
令和3年度	341,547,117	
令和4年度	316,741,660	△24,804,457
令和5年度	313,294,508	△ 3,447,152

6. 課題

過去5年間の寄附金額の推移については、連続して寄附額が減少し、それに比例して、基金積立額も年々減少しています。総務省の基準により、経費は寄附金額の50%以内に抑えているため、基金積立額が減少した直接的な要因は寄附金額の減少によるものと考えられます。

今後は魅力ある新規返礼品や新規事業者の開拓、また、お礼の品に着目するだけでなく、商品開発や関わっている人、街にまつわるストーリーなどにも焦点をあてたPRを行う必要があります。あわせて、寄附金活用事例も明確にし、寄附者に対して市のホームページ等を通じて目に見える形で事業報告を行うことが求められます。